

平成28年3月15日

那須烏山市長 大谷 範 雄 様

那須烏山市総合政策審議会
会長 中 村 祐 司

那須烏山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（答申）

平成27年5月29日付け那烏総政第46号で諮問のあった「那須烏山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、審議を重ねてまいりました結果、別紙答申書のとおり結論に達しましたので、答申します。

答 申 書

当審議会は、平成 27 年 2 月に設置されてから「まち・ひと・しごと創生法」に基づき「那須烏山市人口ビジョン」及び「那須烏山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について慎重に審議し議論を重ねてまいりました。平成 27 年 7 月には、「人口ビジョン策定に向けた基本的方向」をとりまとめ中間答申したところであります。

これを受け、「人口ビジョン策定に向けた基本的方向」を基に、「総合戦略策定に向けた基本的方向」「今後における将来都市構造の方向性」「総合戦略に関する政策・施策」について審議を重ねてまいりました結果、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）」（以下「総合戦略」という。）を妥当であると認め、ここにその旨を答申いたします。

なお、総合戦略の推進につきましては、当審議会の審議過程から示された意見・提言、市民意向調査やパブリックコメントの結果をはじめ、その他の意見を真摯に受け止め、危機感を持ちつつ人口減少の克服と地方創生への取り組みに万全を期すよう要望いたします。

また、審議の過程において、特に配慮し推進を図られるよう要望のあった事項を次のとおり整理し答申いたします。

1 総括的事項

(1) 市民との協働による推進

人口減少克服と地方創生を進めるためには、人口減少問題について市民と認識を共有し、市民と行政が一緒になって考えることが重要である。そのため施策の遂行にあたっては、当事者や市民の意見に耳を傾けるとともに、情報公開や情報提供を積極的に行い、計画の策定から市民が参画できる機会を拡充するなど市民が参加しやすい体制づくりに努めること。

(2) 政策・施策の展開

本市にとって人口減少は最重要課題であり、対策が早ければ早いほど効果が見込まれる。そのため政策・施策の展開にあたっては、重要度や優先度を明確にするとともに、縦割り行政の弊害を排し、分野ごとの政策・施策を可能な限り組み合わせた横断的な取り組みにより、特色ある事業を実施できるよう努めること。

(3) P D C A サイクルの取り組み

行政運営の公正の確保と透明性の向上に向け、P D C A サイクルの確立が強く求められている。各施策の見える化を進めながら、市民を交えた客観的な検証・改善の仕組みを確立するとともに、政策・施策の進捗について、成果指標及び K P I（重要成果指標）で検証し改善する仕組みの確立に努めること。

2 個別的事項

総合戦略に関する審議過程において、審議委員より意見・提言のあった次の具体的な取り組みを、今後の施策を展開するうえで考慮すること。

【産業振興及び雇用】

- 産業振興では、全ての産業をバランスよく振興していくことには無理があるため、若者の希望を調査し何を中心に展開していくのかを検討すること。
- 地元企業にはどんな職種があるのかを実態調査し、市内に働き場所があることを積極的にPRすること。
- 雇用支援に関しては、企業求人に適した講習を開催するなど効率的な支援を検討すること。
- 他地域と比較し優位に立てる資源の掘り起しが重要であり、本市が保有する地域資源を活用し新たな産業を創出すること。そのため、コーディネーター・事業者・金融機関・農業関係者などで議論できる場の設定などを検討すること。

【観光振興】

- 那須烏山市の伝統、芸能は、全国的に見ても知名度アップに繋がると考えられ、観光部門でも良い部分が数多く存在しているため、市内外に積極的に情報を発信するとともに、それらの地域資源を活用したまちづくりに取り組むこと。
- ユネスコに登録されれば外国人が訪れるという希望的観測ではなく、明確な戦略・方策を打ち出すほか、来訪者にとって利便性の高いレンタサイクルやWi-Fiを活用したタブレットによる観光案内など、具体的対応策を検討すること。
- ユネスコ無形文化遺産登録については、地元の人たちにも認知してもらえるよう基礎固めに取り組むこと。
- 宿泊施設について支援を行うなど充実を図ること。

【結婚・子育て】

- 結婚支援については、イベントによるカップルの成立だけではなく、その後のフォローなど独自性の高い取り組みを検討すること。
- まちづくりを進めるには、子どもを育てる母親の視点が重要と考える。そのため子どもを育てやすい環境づくり（医療や教育・生活などが便利なまちや利用しやすい施設など）について検討すること。
- 本市の「すこやか推進室」やアレルギーに対応した学校給食など、他市に先駆け実施している取り組みを積極的にPRすること。

【その他】

- 転出動向は、第2子・第3子が多い傾向にある。そのため兄弟姉妹構成（第2子、第3子）の視点を取り入れ、施策を展開すること。

- 人口減少対策に取り組むうえで、教育・雇用・医療・生活への視点が重要となるが、特に若者の希望をかなえる施策の展開や若者が長く愛着を持って住み続けられるまちづくりに取り組むこと。
- 市には龍門の滝や烏山城跡、蛇姫様など魅力的な資源があり、これらの資源を商業分野と結びつけてPRするなど、新しい産業を生み出すことや特色ある情報発信を検討すること。
- 本市には、地域医療の拠点となる那須南病院やドクターヘリが完備されるなど、医療体制の充実に関するPRにも積極的に取り組むこと。
- 「英語ビレッジ構想の推進」について取り組みを充実すること。
- 再生可能エネルギーの推進について、補助内容を再考するなど重点的な取り組みを検討すること。
- 総合戦略について、その重要性から公聴会の開催や市民への周知など徹底すること。

2 おわりに

総合政策審議会は、平成27年2月に設置されてから6回にわたり審議してまいりました。短い期間での審議でありましたが「人口ビジョン」における現状分析や将来推計、そして目標人口や将来都市構造を踏まえ、「総合戦略」の政策・施策の検討をしてまいりました。

人口減少は、本市の問題に限らず日本全体の問題であります。しかしながら那須烏山市の人口減少は、人口減少の進み方からも大きな課題となっており、まさに「待ったなし」の状態であります。少子化対策には早ければ早いほど効果があると考えられ、そのためには「人口の将来展望の基本的視点」を踏まえて策定されました総合戦略における4つの基本目標の政策・施策に対し、迅速な対応による推進をお願いいたします。

なお、人口の維持・増加を図るためには長期間を要することとなります。まずは実現可能な短期的施策による人口増加に向けた施策を展開するとともに、中長期的視点から本市の恵まれた自然と文化、歴史を活かした魅力あるまちづくりに取り組み、出生数の増加による持続的運営が図られるよう強く望みます。